



創刊号

1993・10



社団法人 千葉県緑化推進委員会



# あなたも「緑の地球」



## 「グリーンえっせんす」 発刊にあたり

近年の急速な経済成長は、豊かな生活をもたらした反面、都市化が進み、生活の周辺から緑をなくしています。また、地球規模でも、熱帯雨林の減少、酸性雨、温暖化等が、地球環境問題として世界の関心事となっております。

本委員会は、昭和25年設立以来、多くの方々のご支援を得て、郷土緑化運動の推進に努力してまいりました。

森林をはじめとする自然、都市などの木々の緑、あるいは身近にある緑は、古来から生活基盤として、物質的な恩恵は言うに及ばず、多様な機能で計り知れない恩恵を与えてくれている、大切な社会資産であります。

このたび、「グリーンえっせんす」を創刊するにあたり、県民の皆様が、森林づくりと緑豊かな誇りのある環境づくりに、さらに、ご理解ご認識を深められ、県民一人ひとりがそれぞれの立場で、それぞれ可能な方法で参加をいただく郷土緑化推進運動の輪の広がりに役立つことを願っています。

社団法人 千葉県緑化推進委員会  
会長 井上 裕

わたしたちの生活するこの地球は、広い宇宙でたった一つの「生物の住む星」です。緑豊かな大地、澄んだ青い空、そして母なる海…。そんな大きな自然に守られて、わたしたちは生きています。

特に緑は、わたしたちの暮らしと深いかわりを持ってきました。人間が生きていくための大切な要素という点で、緑は人間の生命の源といっても過言ではないでしょう。もちろん人間だけでなく、動物や小鳥、昆虫、魚、植物にとっても、緑はなくてはならないものです。

ところが、アフリカ大陸では現在、急速に砂漠化が進み、緑が失われつつあります。またヨーロッパ諸国では、工場の煤煙や車の排気ガスにより、酸性雨が降り、森林が枯れはじめています。温暖化現象による異常気象も、地球規模で起こっています。温暖化現象の原因が、無計画な森林の伐採にあるという意見も出ています。何百年、何千年かけて作られた森林は、一度破壊されてしまうと、簡単には元にもどりません。もどすには同じような永い年月と、たくさんの人々の努力と協力が必要なのです。かけがえのない地球を破壊するのもし人間ならば、救えるのも、わたしたち



平成3年	63年	60年	59年	56年	54年	52年	45年	28年	26年	昭和25年	年 代
地域緑化推進事業開始	「緑と水の森林基金」造成開始	第9回全国青樹祭開催(富津市)	公益法人に改組設立 「千葉県緑化基金」造成開始	県・市町村を構成員に包含し、組織体制を強化	みどりの少年団活動開始	ゴルフアーの緑化促進協力金による公共施設等の環境緑化事業開始	緑化ポスター原画コンクール開始	第4回全国植樹祭開催(富津市)	緑の羽根募金運動開始 県民による県土緑化運動開始	千葉県緑化推進委員会設立	緑化推進委員会のあゆみ

# を支えるひとりです

人間です。

幸いなことに、わたしたちはそのことに気付くことができました。そして世界的に環境運動や自然保護運動が高まりをみせ始めています。

千葉県緑化推進委員会は、こうした中において、県民の皆様のご協力により、千葉県の美しい自然を守り、緑あふれる住みよい環境を作るためにさまざまな運動を続けております。この委員会の活動へ、県民の皆様がもっと気軽に参加していただけるよう、このたび広報誌を創刊する運びとなりました。

「グリーンえっせんす」。この広報誌が県民の皆様にとって、緑の香りのような、さわやかな存在となりますように…。そんな願いを込めて命名された、生まれたての新しい広報誌です。これから1年に4回発行いたしますが、読者の皆様とのコミュニケーションを第一と考えております。

「街路樹の名前がわからない」、「窓辺で育てたポトスがこんなに増えた」などなど…。読者の皆様の情報やご意見、ご要望、緑自慢など、どしどしお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。



## 社団法人千葉県緑化推進委員会の 広報誌発刊に寄せて

千葉県緑化推進委員会は、昭和25年の創立以来、本県の緑化推進運動の母体として、緑化思想の普及・啓発に多大な成果を上げておられますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本県は、首都圏にあって最大の緑空間を保持しておりますが、近年における人口の集中や都市化の進展などにより、森林をはじめとする緑は、次第に失われてきています。

このため、県では貴重な郷土の緑を保全・創造し、次世代に引き継ぐため、21世紀に向けて本県の緑づくりの指針となる「みどりの基本構想」を昨年10月に策定いたしました。

この基本構想では、「人とみどりのハーモニー」を基本目標に、森林、農地、宅地などのバランスを保ちながら、均衡のとれた緑づくりを進め、人と緑が共生する豊かな環境を、県民の参加を得て、創造してまいることとしています。

このような中で、千葉県緑化推進委員会の広報誌「グリーンえっせんす」が発行されることは、県民の皆様が緑に関する情報がこれまで以上に提供されることになり、誠に時宜を得たものだと思います。

本広報誌を通じて、一人でも多くの県民の皆様が郷土の緑づくりに関心を持ち、いろいろな活動に参加くださることを願ってやみません。

千葉県知事 沼田 武





# (社)千葉県緑化推進委員会では こんな事業をしています

## 緑を深める

### 「緑の羽根」募金運動

緑の羽根を、緑化運動のシンボルとして、募金活動を実施し、県下全域にて、緑化思想の普及を図るとともに、その募金により、さまざまな緑化事業を推進しています。

### 森林・緑化基金の造成

森林・緑化基金は、全国規模で実施している「緑と木の森林基金」(昭和63年から7カ年で全国目標額200億円、本県の目標額1億9000万円)と、本県独自の「千葉県緑化基金」(昭和60年度から10カ年で目標額2億円)に分けられます。

どちらの基金も運用益(利息)は、本県の安定した継続的事業資金として、各種の緑化事業に使われています。

### 郷土緑化県民大会の開催

毎年春、千葉県と共催し、市町村及び緑化、林業、自然保護、みどりの少年団等の各種団体関係者、約1500名が集い、緑化功労者の表彰、少年団の結団、記念植樹、苗木の配布等を行い、緑化思想の普及と高揚を図っています。

### みどりの少年団の育成

次代を担う少年少女たちが、自然に親しみ、緑を育む活動を通して、健康で心豊かな人間性を育むように、また団活動により、責任と協力の心を培い、明るい社会人に育つことを願い、少年団の結成とその育成を図っています。

### 緑化運動ポスター原画コンクールの開催

小・中学校の児童生徒を対象に実施し、優秀作品を県内各地で行われる緑化行事に展示するとともに、作品集を発行し、県下の全小・中学校に配布しています。

### 森林浴・みどりの教室の開催など

県民の皆様を対象に、県民の森等で森林浴を楽しみながら、自然や森林に対する理解を深めてもらっています。



春の行事、郷土緑化県民大会



みんなで参加しよう! 緑の羽根募金運動





# 緑をふやす

## 「緑の羽根」募金による県民植樹運動

緑の羽根募金と、県の補助金などを財源とする事業で、市町村に樹木を交付し、県土の緑化を進め、生活環境の向上を図っています。

## ゴルファーの緑化促進協力金による公共施設の緑化

緑豊かな社会づくりに寄与することを目的に、県内22のゴルフ場の協力を得て募った緑化協力金を、(社)ゴルファーの緑化促進協力会より委託を受け、学校、老人ホーム、公園等の公共施設を重点的に、緑化を実施しています。

## みんなの森の造成

一般市民の緑化運動への参画を図るため、市民が地域の公共施設等に行う緑化の実践活動に対し、樹木及び資材等を助成し、地域における緑化運動の担い手を育成しています。

## 苗木配布による家庭の緑化

「県民の日」や県内各地で行われる産業まつり等の各種イベントに協賛し、苗木等の無料配布や、緑化相談を行っています。



毎年参加者が増加している、森林浴



ユニフォーム姿漢々しい、みどりの少年団



県民植樹運動。この木が10年後には…



この行列は？ やっばり苗木の配布



ゴルファーの緑化促進協力金による公共施設の緑化



平成5年度  
「緑と水の  
森林基金」  
事業

# 第13回 千葉県みどりの少年団交流集会

7月28日から30日にかけて、夷隅郡大多喜町・大多喜県民の森で、みどりの少年団交流集会を開催。自然の中での総合的な緑の学習と共同生活を体験し、自立・責任・協力の精神を養うため、そして活動発表や情報交換を行い、団の資質の向上と連携を深めるため、県下各地のみどりの少年団の団員たちが一堂に会し

ました。  
少年団員たちは、日頃体験できないような自然の中での生活を素直に受け入れ、そして満喫。緑あふれるさわやかなふるさとを、次代に引き継ぐ担い手としての自覚を深めたようでした。この夏の体験は、いつまでも良い思い出として心に残ることでしょう。



体験林業  
「なかなか切れないゾ」



昼ごう炊飯「おいしく出来たかなあ…」



キャンプファイアー「燃えろよ燃えろ 炎よ燃えろ…」

自然観察会「耳をすましてごらん！ この辺のうぐいすは鳴き声が違うだろう」



活動発表会「日頃の活動を、今日ここで発表！」

## ■第13回千葉県みどりの少年団交流集会参加団■

### 【A 班】 7月28日～29日

- 千葉市立土気小学校
- 千葉市立幸町小学校
- 船橋市立若松小学校
- 柏市立富勢東小学校
- 柏市立田中小学校
- 柏市立光ヶ丘小学校
- 佐倉市立間野台小学校
- 佐倉市立佐倉小学校
- 佐倉市立白井小学校
- 佐倉市立弥富小学校
- 佐倉市立内郷小学校
- 佐倉市立根郷小学校

- 八日市場市立飯高小学校
- 山田町立山倉小学校
- 九十九里町立豊海小学校
- 山武町立睦岡小学校
- 山武町立日向小学校
- 蓮沼村立蓮沼小学校
- 船橋市立芝山中学校
- 山田町立山田中学校

(20団)

### 【B 班】 7月29日～30日

- 市原市立湊津小学校
- 市原市立八幡小学校
- 市原市立国分寺台小学校
- 市原市立寺谷小学校
- 君津市立北子安小学校
- 君津市立坂畑小学校
- 富津市立富津小学校
- 富津市立環南小学校
- 一宮町立一宮小学校
- 一宮町立東浪見小学校
- 長柄町立長柄小学校
- 長南町立長南小学校

- 長南町立西小学校
- 長南町立東小学校
- 長南町立豊栄小学校
- 大多喜町立老川小学校
- 大多喜町立西畑小学校
- 君津市立清和中学校
- 君津市立小櫃中学校
- 鴨川市立長狭中学校
- 一宮町立一宮中学校
- 睦沢町立睦沢中学校
- 長南町立長南中学校

(23団)



県民参加の

みどり  
づくり

いい汗、かいたなあ！

実感の下刈作業

8月22日（日）、千葉県との共催で「平成5年度第1回県民参加のみどりづくり」を開催しました。県民の方々に県内のみどりを紹介するとともに、郷土のみどりづくりにも積極的に参加してもらうことを目的としたこの企画。今回は大鎌を使っての下刈り作業です。場所は、ロケーションに恵まれた富津市鬼田山県有林。夏空の下に、103名もの方々が参加されました。

大鎌を持つのも初めて…という初体験の方がほとんどで、しかも暑さが加わっての少々ハードな下刈り作業。にもかかわらず、目標の面積を刈ることに参加者全員が大変な熱中ぶりでした。下刈りを終えた斜面を見下ろしたときの満足感と、この貴重な体験を共有できた喜びを、各自かみしめていました。

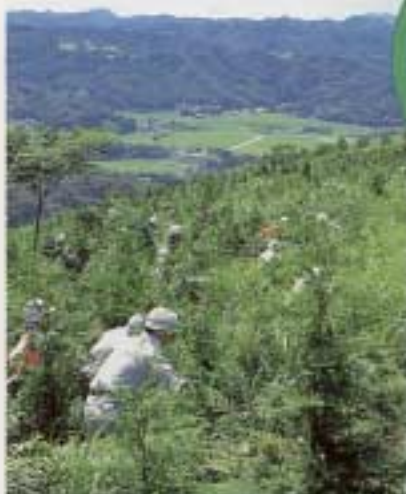
今後も「県民参加のみどりづくり」の開催を予定しています。たくさんの方々の参加をお待ちしています。詳しくは8ページの「お知らせ」をご覧ください。



ちょっと一休み。風がおいしい！



痛にからんだ  
つまを取るのも  
大切な作業



真剣なまなざしで大鎌の使い方を聞く



いい風、いい汗、いい笑顔

体験談

◇山歩きクラブの4人のメンバーと  
館山市から参加の原田忠さん

「下刈りというと、真っ暗な森の中での作業と思っていたのですが、ここは眺めが最高。気持ちがいいですね。自然に親しめて良い経験になります。」

◇実習用の地下足袋で参加  
東京農大2年生の野沢晶さん

「大学の実習前の練習に…と参加したのですが、思っていたより大変です。でも働く喜びを実感しました。ず～っと将来も、緑にかかわる仕事がしたいです。」



4人の平均年齢は64歳です



## 森林・緑化基金に 御協力をお願いします

緑を代表する森林は、計り知れない恩恵を私たちに  
もたらしてきました。

この緑を守り育てるために、本委員会では「森林・  
緑化基金」の造成を進めています。

運用益(利息)は、学校・社会福祉施設・公園等の  
公共施設の緑化や、森林の保全に使われています。

名称	目標額	実績額
森林基金	190,000千円	83,132千円
緑化基金	200,000千円	139,973千円

(実績は平成5年9月1日現在)

緑化や森林づくりの必要性をご理解いただき、ご協  
力をお願いします。

なお、寄付金には、法人税・所得税の優遇措置が受  
けられます。詳しくは、当委員会までお問い合わせく  
ださい。 ☎ 043 (225) 3181

## 第2回県民参加のみどりづくりの開催

県では、県民の皆様に県内の緑を知っていただき、  
郷土のみどりづくりに積極的に参画いただくため、次  
のとおり「平成5年度第2回県民参加のみどりづくり」  
を開催しますので、奮ってご参加ください。

- 日 時 10月24日(日) 午前10時から  
午後3時まで(小雨決行)
- 会 場 安房郡丸山町富岡県有林
- 内 容 健全で優良な山づくりにかせない「枝  
打ち(不要な枝をのこぎりで切り落とす)」  
に4時間程度従事していただきます
- 定 員 ①現地集合(笠岡乳牛試験場)50名  
②送迎バス 50名 計100名
- 参加費 無料
- 文 通 JR鴨川駅・保田駅から送迎バスを出します
- 資 格 高校生以上の方で、経験は問いません
- 申込期限 10月15日までに電話で申し込んでください
- 申込・問い合わせ先 千葉県庁みどり推進室  
☎ 043 (223) 3684

## 都市緑化講演会

「都市に公園と緑を」をテーマにした、全国的な都  
市緑化推進活動の一つとして、県民の皆様のいっそう  
のご理解を得るため、次の講演会を行います。

- 主 催 千葉県
- 後 援 (財)千葉県地域整備協会  
bay fm
- 開催日時 10月31日(日) 午後6時～8時
- 会 場 千葉市民会館小ホール
- 入 場 料 無料(当日整理券配布)
- 講 演 者 C.W.ニコルさん(Che William Nicol)  
講演とミニコンサート
- 問い合わせ先 (財)千葉県地域整備協会  
☎ 043 (224) 2484



## 表紙の絵

表紙の作品は、平成4年度国土  
緑化運動ポスター原画全国コンク  
ールにおいて、文部大臣賞を獲得  
した、千葉県立土気南中学校2年  
秋山悦子さんの作品です。

## 編集後記

「みどり」。その言葉は限りなく優しく、わたした  
ちに安らぎと爽快なイメージを与えてくれます。絵画  
や音楽といったあらゆる芸術の題材とされる所以でし  
ょうか。しかし緑を求める人は多くとも、山村の過疎・  
高齢化問題でご存じのとおり、緑を守り、創る人は決  
して多くはありません。人間は、自然に生かされてい  
るという意識を持ち、緑を中心とした自然と仲良く生  
きていくことがとても大切です。この広報紙を通じて、  
わたしたち一人ひとりが、まずは身近な緑に関心を持  
つことから始めてみませんか。そして、近い将来に緑  
を守り、創る活動に参加してみませんか。(Y)

さまざまな環境問題などを含め、社会全体でより多く  
の緑を望む声が高まっていますが、それを実際に実現す  
るためには、一人でも多くの方が緑への思いを抱き、深  
めることが必要でしょう。まずは難しいことは抜きにし  
て、この広報紙といっしょに緑を感じてみませんか。(I)

## グリーンえっせんす 創刊号

1993年10月1日発行

発行/(社)千葉県緑化推進委員会

〒260 千葉市中央区長洲1-9-22 森林会館

TEL 043(225)3181 FAX 043(225)3255

編集/凸版印刷 株

TEL 043(227)2261

この広報紙は、再生紙を使用しています。